

【2】東諸県郡小体連（学校数 5校 児童数 1415名）

1 年間事業

日 程	事 業 内 容
令和元年5月23日 国富町立本庄小学校	第1回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 役員選出 (2) 平成30年度決算報告 (3) 令和元年度事業計画・予算案検討 (4) 令和元年度の研究計画・研究内容について
令和元年6月14日 国富町立本庄小学校	第2回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 東諸県郡水泳記録会実施計画案の検討 (2) 研究内容に基づく理論研究
令和元年7月8日 国富町立本庄小学校	第3回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 東諸県郡水泳記録会開催要項について、選手名簿作成 (2) 研究内容に基づく理論研究
令和元年7月24日 国富町立本庄小学校	第4回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 水泳記録会前日準備 (2) 水泳記録会選手名簿等の最終確認
令和元年7月25日 国富町立本庄小学校	東諸県郡小学校水泳記録会 (1) 東諸県郡小学校水泳記録会開催 (2) 水泳記録会片付け 及び 水泳記録会反省
令和元年8月26日 国富町立本庄小学校	第5回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 水泳記録会反省 (2) 東諸県郡陸上記録会実施計画案の検討 (3) 研究内容に基づく理論研究
令和元年10月21日 国富町立本庄小学校	第6回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 陸上教室実施要項について、選手名簿作成 (2) 研究内容に基づく理論研究
令和元年10月29日 国富町運動公園	東諸県郡小学校陸上記録会前日準備 (1) 陸上記録会前日準備 (2) 陸上記録会選手名簿等の最終確認
令和元年10月30日 国富町運動公園	東諸県郡小学校陸上記録会 (1) 東諸県郡小学校陸上記録会開催 (2) 陸上記録会片付け 及び 陸上記録会反省
令和元年11月28日 国富町立本庄小学校	第7回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 陸上記録会反省 (2) 研究授業指導案検討
令和元年12月3日 国富町立森永小学校	第8回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 研究授業 (2) 授業研究会
令和2年2月6日 国富町立本庄小学校	第9回 東諸県郡小学校体育連盟評議員会 (1) 研究のまとめ (2) 次年度の計画

## 2 事業部のあゆみ

### 【第9回東諸県郡小学校水泳記録会】

- (1) 主 催  
東諸県郡小学校体育連盟
- (2) 共 催  
国富町教育委員会 綾町教育委員会
- (3) 日 時  
令和元年7月25日(木) 9:00~12:00
- (4) 会 場  
国富町立本庄小学校
- (5) 参加児童及び参加人数  
第5学年・第6学年 260人 (役員50人)
- (6) 種 目  
25m自由形 25m平泳ぎ  
50m自由形 50m平泳ぎ  
100mリレー(4×25m)

### 【第9回東諸県郡小学校陸上記録会】

- (1) 主 催  
東諸県郡小学校体育連盟
- (2) 共 催  
国富町教育委員会 綾町教育委員会
- (3) 日 時  
令和元年10月30日(水) 9:00~12:30
- (4) 会 場  
国富町運動公園
- (5) 参加児童及び参加人数  
第6学年 232人 (役員40人)
- (6) 種 目  
選抜100m走 選抜200m走 選抜50mハードル走  
持久走(女子600m走 男子1000m走)  
選抜走り高跳び 選抜走り幅跳び 選抜ソフトボール投げ  
選抜400mリレー

1 研究主題

生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育学習の在り方  
～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造と展開～

2 主題設定の理由

東諸県郡の各小学校では新体力テストの結果が県平均を下回っている項目が多く、体力向上が喫緊の課題となっている。児童は、体育の授業や休み時間での外遊び等を通して運動する機会があるものの、放課後に習い事がある、近隣に公園、運動施設がない、家が遠いために友達同士の遊びが少ない等運動に親しむ環境が整いにくく、学校によってはスクールバスや自家用車で登下校で日常的に運動する機会が少ない実態がある。

そこで、研究主題を「生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力の基礎を育てる体育学習の在り方」と設定し、運動やスポーツをその価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点を持ちながら、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方を探るため本主題を設定した。

3 研究の目標

運動に関する課題を見付け、その解決に向けて運動の楽しさや喜びを味わいながら主体的に運動に取り組んだり、仲間と対話的な学習に取り組んだりする学びを促す学習指導過程の工夫・改善について追究する。

4 研究の内容

- (1) 指導方法の工夫について
  - 主体的・対話的で深い学びの共通理解
  - 1 単位時間の学習過程の工夫
  - 学び合いの場の設定
- (2) 学習資料の工夫について
  - ワークシートの工夫

5 研究の実際

- (1) 指導方法の工夫について
  - ア 主体的・対話的で深い学びの共通理解  
新学指導要領に記載されているように、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は相互に関連が図ることが大切であるが、それぞれの視点を明確にできるように、本研究における主体的・対話的で深い学びについての定義について、共通理解を図った。
  - イ 1 単位時間の学習過程の工夫  
「ボール運動ゴール型」の学習を進めていく上で、学習指導過程の「はじめ」「なか」「おわり」の各段階で行う指導過程の明確化を図った。
  - ウ 学び合いの場の設定  
「主体的・対話的で深い学び」を行うために、授業の中で行う運動についてポイントを示し、

全

体指導を行って、児童の共通理解を図った。また、運動を行う中でアドバイスをしたり、話し合わせたりし、運動の行い方を児童同士で工夫できるようにした。

- (2) 学習資料の工夫
  - ア ワークシートの工夫  
授業の振り返りや、本時で行ったゲームを一つ一つ振り返ることができるようにした。また、ルールや動きを確認したことなどを記入できる自由記述欄を設け、自分の取組について振り返っ

たり文章で表現したりすることで、関心・意欲・態度等の評価にもつなげられると考えた。  
 授業研究会 令和元年12月3日(火)  
 授業者 森永小学校 木原 寛士教諭 第6学年 「タグラグビー」

学習指導過程

段階	学習内容及び学習活動	指導上の留意点	評価	資料・準備
はじめ	1 準備運動をする 2 サーキット運動をする ○ 4種のサーキットを行う ・スピードラダー ・フレキシブルハードル① ・フレキシブルハードル② ・サーキット 3 学習課題を確認する 工夫した動きを取り入れながら、楽しく活動しよう	○ 体操をしたり、サーキット運動をしたりすることで、柔軟性や俊敏性の向上を図る。		サーキット用具
なか	4 主運動につながる運動をする ・タグ取り鬼ごっこ ・1対1タグ取りゲーム① ・1対1タグ取りゲーム② ・1対1タグ取りゲーム③ ・チーム対抗タグ取りゲーム ・ボール取りゲーム	○ 主運動につながる運動を行うことで、タグラグビーのルールを理解したり、楽しく活動したりすることができるようにする。	タグラグビーにつながる運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、進んで運動に取り組もうとしている。【運動への感心・意欲・態度】	



【研究授業での児童の活動の様子】

6 研究の成果と課題

(1) 成果

- 運動時間の確保が十分あった。
- 活動の種類がたくさんあり、児童が進んで運動に取り組み、お互いに声かけを行っていた。

(2) 課題

- 新体力テストの結果を基に、体力向上サーキットだけでなく、実践事例集の活用をしていきたい。
- 児童の実態に合わせてより柔軟に授業内容を組み立てていく必要がある。